

中国知的財産権 ニュースレター

09

2025年第9号
[全127号]



目次

01 知財ニュース

中国最高裁判所 2025年裁判所の不正競争防止に関する典型的判例を公表	01
最高裁判所 2025年裁判所の独占禁止に関する典型的判例を公表	03
中国トップ500民営企業が72万件超の専利を保有	05
世界知的所有権機関 中国がグローバルイノベーションクラスタートップ100の保有数	06
世界一 深セン・香港・広州クラスターが世界首位に躍進	

02 AI・IoT関連情報

新疆スマート医療博覧会が開催 AI設備が主役にAIが	07
エンパワーメント 自動車産業が新たなシーンへ	08

中国最高裁判所 2025年裁判所の不正競争防止に関する典型的判例を公表

*（タイトルをクリックするとリンクが表示されます、以下同じ）

司法判決の模範的指導的役割を十分に果たすため、中国最高裁判所は9月8日、不正競争防止に関する典型的判例8件を公表した。

今回公表された8件の典型的判例は、模倣による混同、技術秘密侵害、商業上の誹謗中傷、ネット上の不正競争行為の認定及び不正競争防止法の一般条項の適用等重要な法的問題に関わるものであり、電子商取引プラットフォーム、自動車メンテナンスサービスなどのオンライン・オフライン産業分野、及び人工知能、ライブ配信プラットフォームなどの新技術・新業態に広く関連している。これらの判例は三つの特徴がある。

第一は、厳格な保護を堅持し、公正な競争秩序を維持することである。不正競争行為は、他の経営者または消費者の合法的権益を損なうだけでなく、正常な市場競争メカニズムを歪め、破壊するものである。厳格な保護の堅持は、市場競争の生態系を浄化し、市場メカニズムの活力と有効性を維持するのに役立つ。「遠心圧縮機の機器選定」ソフトウェア及び技術秘密侵害紛争案件では、孫某良らが匿名で同業の会社を設立し、元の雇用主の技術秘密を10年以上にわたり盗用したことに對し、裁判所は懲罰的賠償を適用し、当該会社及び孫某良らに連帯して1億6600万元余りの賠償を命じ、同様の侵害行為を効果的に抑止した。「天然プロテアーゼ3」に係わる営業秘密侵害紛争案件は、国境を越えた営業秘密の司法保護において有益な模索を行い、法に基づいて外国権利者の合法的権益を公正平等に保護した。「ライブコマース」に係わる商標権侵害及び不正競争紛争案件では、裁判所は有名ブランドの保護を強化し、懲罰的賠償を適用し、権利者が主張する賠償請求を全額認め、ライブコマースでのフリーライドを厳しく取り締まった。

第二は、フリーライドなどの不正競争行為を断固として処罰し、高品質の発展に貢献することである。模倣による混同、商業上の誹謗中傷などの不正競争行為は、イノベーションへの投資と誠実な経営を抑制し、消費者の利益と社会公共の利益を損なうものである。法により断固として処罰することは、高品質の発展への貢献に資するものである。今回公

表された「某牛」商号に係わる不正競争紛争案件では、他人の比較的知名度の高い商号に近似する文字を商号として登記し、かつ使用の意思がある場合、実際に使用していなくても、その行為は法律で禁止される模倣行為に属することを明確にし、フリーライドの根底からの阻止を実現した。「自動車メンテナンスサービス」に係わる不正競争紛争案件は、競争相手を誹謗中傷する不正競争行為を正確に認定し、誤解を招く情報を拡散して他人の商業信用を毀損する不正競争行為を断固として阻止した。引越し（データ移行）ソフト「盗图抄店（画像盗用・店舗コピー）」に係わる不正競争紛争案件は、大量の商品データを違法にクロールして、他の経営者の商品サービスを実質的に代行する行為は不正競争となることを正確に認定し、誠実な経営者の合法かつ正当な権益を保護した。

第三は、新しいタイプの紛争を適切に審理し、新業態の規範的な発展を導くことである。新技術・新業態・新モデルの急成長は、司法に実務上の新たな挑戦をもたらしている。裁判所は、規則や価値観の角度からイノベーション成果の保護を強化し、プラットフォームなどの新業態の健全な発展を規範化している。今回公表されたオンラインゲームの第三者取引プラットフォームの不正競争紛争案件は、第三者取引プラットフォームが、チート行為などによってコンピュータプログラムを破壊する違法なゴールドファーミング行為が存在する可能性があることを知りながら、引き続き便利な取引サービスを提供することは、不正競争になることを明確にし、第三者取引プラットフォームの規範的な発展に指針を明示した。「変身漫画特殊効果」に係わる不正競争紛争案件は、人工知能モデルのパラメータと構造が不正競争防止法により保護される競争上の利益に属することを指摘しており、人工知能業界の発展を規範化し、新興分野の市場競争秩序を守る上で積極的な意義を持つ。

最高裁判所 2025年裁判所の独占禁止に関する 典型的判例を公表

中国の裁判所は独占案件を法に基づいて裁判することにより、公正な競争秩序を守り、「全国統一大市場（注：中国市場を大きな市場から強い市場へと転換するための、十分に開放された統一された市場を意味する）」の構築に堅実な法的保障を提供している。司法判決の模範的指導の役割を十分に発揮させるため、中国最高裁判所は9月10日に独占禁止に関する典型的判例5件を公表した。

今回公表された5件の典型的判例は、行政権限の濫用による競争の排除・制限行為、商品価格の固定及び販売市場の分割による水平的独占行為、業界団体が組織した同業界の事業者による独占行為等の重要な法的問題に関わり、交通、建築材料、原薬、化学工業などの人々の生活を支える産業をカバーしている。これらの判例には主に以下の特徴がある。

第一は、民生分野に関心を寄せ、基本的生活を保障し、人々のより良い生活への期待に応えることである。今回公表された「電動バイクシェア」に係わる行政権限濫用による競争の排除・制限案件、「セメント業界団体の水平的独占協議」独占禁止行政処罰案件、「原薬カンフルに関わる水平的独占協議」独占禁止行政処罰案件、「コンクリート企業」水平的独占協定案件はいずれも直接各家庭の日常生活に関わり、人々の移動コスト、医薬品コスト、住宅コストなどと密接に関連している。裁判所が法により断固として独占行為を差し止め、損害を受けた事業者に相応の補償を行ったことは、市場の公正性を守っただけでなく、人々の切実な利益を保護し、独占禁止に関する司法サービスが基本的生活を保障する明確な立場にあることを示すとともに、民生分野の市場競争を規範化するための法的基準を確立したものである。

第二は、規則体系の精密化、審理基準の完備化が進み、市場競争行為を規範化するための明確な指針を示していることである。「セメント業界団体の水平的独占協議」独占禁止行政処罰案件は、業界団体の組織のもとで実施された同業界事業者の独占行為の認定基準を明確にし、業界団体の行為の限界を定め、業界団体が法に基づいて業界活動の指導とサービスを展開するよう規範化した。「コンクリート企業」水平的独占協議案件は、水平的独占協議における被害者損失の推定と損失計算規則を明確にし、水平的独占協定紛争にお

ける原告の立証の負担と難易度を下げた。「ホルムアルデヒド販売市場」水平的独占協議案件は、裁判所が水平的独占行為を正確に識別して市場の公正な競争を保護できるように水平的独占協議の成立及び実施の認定基準を明確にした。

第三は、独占禁止に関して司法と行政法執行が協力して相乗効果を発揮し、公正な競争秩序が保護されたことである。「セメント業界団体の水平的独占協議」独占禁止行政処罰案件と「原薬カンフルに係わる水平的独占協議」独占禁止行政処罰案件は、いずれも裁判所が地方の独占禁止法執行機関の独占禁止処罰決定及び国家市場監督管理総局の再審決定に対して行った司法審査であり、独占禁止に関する司法が行政法執行に対して法的に監督と支持を行い、法執行プロセスの合法性と公正性を確保していることを示している。行政法執行であれ司法裁判であれ、最終目標は高度に一致しており、すなわち市場競争行為を規範化し、公正な競争秩序を維持し、「全国統一大市場」の構築をさらに推進することである。

中国トップ500民営企業が72万件超の専利を保有

中華全国工商業連合会は8月28日、「2025年中国民営企業トップ500」を発表した。京東グループ（中国の電子商取引大手）、アリババ（中国）有限公司（中国の電子商取引大手）、恒力集团有限公司（石油化学・ポリエステル繊維加工大手）が上位3社にランクインした。特筆すべきは、今回ランクインしたトップ500社が72万1600件の有効専利を保有し、9948件の国家標準と7568件の業界標準の制定に主導的役割を果たし、または参与したことである。また、国内有効商標登録数は20万9100件、国外有効商標登録数は6万件（うちマドリッド国際商標登録数は1万700件）に上る。

今年実施された第27回一定規模以上の民営企業調査には、2024年の営業収入が10億元を上回った企業6379社が参加し、うち営業収益トップ500社が「2025年中国民営企業トップ500」に選出された。

紹介によると、今回のトップ500の入選基準となる営業収益は270億2300万元に増加した。500社全体の営業収益総額は43兆500億元、営業利益合計は1兆8000億元に上る。研究開発費用は総額1兆1300億元、研究開発従事者数は115万1700人で、平均研究開発投資強度は2.77%であった。納税総額は1兆2700億元に達し、納税額が10億元を超えた企業は240社で、全体の48%を占めた。

さらに、トップ500企業のうち309社が戦略的新興産業に積極的に投資しており、627のプロジェクトが新材料、新エネルギー、次世代情報技術、ハイエンド設備製造、新エネルギー自動車、省エネルギー・環境保護などの戦略的新興産業の主要なサブ分野で展開されている。

世界知的所有権機関 中国がグローバルイノベーションクラスタートップ100の保有数世界一 深セン・香港・広州クラスターが世界首位に躍進

世界知的所有権機関（WIPO）は9月1日午後、香港で「2025年グローバルイノベーションクラスタートップ100」ランキングを発表した。中国が保有するグローバルイノベーションクラスタートップ100の数は3年連続で世界一を維持し、深セン・香港・広州クラスターが世界首位に躍進し、中国の単独のイノベーションクラスターが初めて世界一となった。

グローバルイノベーションクラスタートップ100には、中国の24のクラスターが選ばれ、アメリカ（22）、ドイツ（7）、イギリス（4）、インド（4）と続いた。世界のトップ5およびトップ15のイノベーションクラスターランキングにおいて、中国はそれぞれ2つと5つを占め、いずれも世界一となった。寧波（93位）と寧徳（99位）のクラスターはともに初めてグローバルイノベーションクラスタートップ100ランキング入りを果たした。

世界のトップ15のイノベーションクラスターは順に、深セン・香港・広州、東京・横浜、サンノゼ・サンフランシスコ、北京、ソウル、上海・蘇州、ニューヨーク、ロンドン、ボストン・ケンブリッジ、ロサンゼルス、大阪・神戸・京都、パリ、杭州、サンディエゴ、南京である。

グローバルイノベーションクラスタートップ100は旧称をグローバル科学技術クラスタートップ100といい、2017年以来、WIPOは毎年世界主要経済体のトップ層のイノベーション能力を評価している。主にWIPOの特許協力条約（PCT）に基づいて提出された国際特許出願数、科学論文発表数、および今年新たに追加されたリスク資本取引量の3つの指標に基づいてイノベーションクラスターのランキングを行い、世界で最も活発な科学技術活動の集積地域を確定している。WIPOのダレン・タン事務局長は、イノベーションクラスターは強力な国家的イノベーションエコシステムの支柱となり、アイデアから市場までのプロセスを定着させ、強化するのに役立っていると述べた。

新疆スマート医療博覧会が開催 AI設備が主役に

9月5日、新疆スマート医療博覧会が新疆国際会展センターにて開催された。

今回の博覧会には全国から約200社の関連企業が参加し、展示面積は10000平方メートルに及んだ。会場には、医薬・健康エリア、歯科機器エリア、リハビリ・高齢者ケアエリアなどが設けられ、医療機器や医療用画像、5G+スマート画像製品、検査設備、健康・ウェルネス・治療器具、リハビリ用補助器具、健康マッサージ製品、医療用消耗品、衛生保護用品、口腔・眼科検査設備、医薬品、製品、スマート病院構築システム、実験室構築システム、物流支援システム、病院運営システム、スマート医療・介護関連製品など、3000点以上が展示された。

博覧会ではAIを活用した設備が絶対的主役となった。ウルムチで初出展となった南京大経中医薬信息技术有限公司は、先進的中国医学AI統合ソリューションとして、スマート脈診装置、スマート舌診・面診装置、中国医学臨床スマート診療補助システムを紹介した。会場ではAIによる診断から処方箋作成までの全工程が実演された。同社トレーニングディレクターの岳少鵬氏は、「新疆のさらに多くの基層病院や診療所、健康施設などにおいて、中国医学とAIの融合による変革とアップグレードを推進し、人々の健康に貢献したい」と語った。

ウルムチ春播万象健康管理有限公司は、中国医学の脈診・面診・舌診・問診を一体化した「易葫路」セルフ型AIスマート中国医学検査設備を展示した。専門医の指導がなくても、取得したデータに基づき迅速かつ正確に体質タイプや健康状態、潜在的な疾病リスクを判定し、健康管理のアドバイスを提供できる。梁雲鋒社長は、「博覧会のプラットフォームを利用して、技術交流や契約締結を進めていきたい」と述べた。

健康・ウェルネスサービスとスマート高齢者ケアプラットフォームの構築を手がける新疆誠祥康養集团有限公司は、高齢者に向けた包括的でパーソナライズされた健康・高齢者ケアサービスを展示した。同社の責任者である張熠氏は、「高齢者がスマートデバイスを装着すると、プラットフォームが心拍数、血圧、睡眠などの健康データをリアルタイムで収集でき、異常がある場合、速やかに警告を発して関係者へ通知する仕組みである」と説明した。

AIがエンパワーメント 自動車産業が新たなシーンへ

ビッグデータ、AIなどの最先端技術の継続的な発展・応用に伴い、自動車生産・製造プロセスが大きな変革を遂げている。7月31日に開催された国務院常務会議では、「『AI+』行動（AIプラス・イニシアティブ）の実施の深化に関する意見」が審議・採択された。会議では、「『AI+』行動を徹底して実施し、AIの大規模な商業化応用を積極的に推進し、中国の完備した産業システム、大きな市場規模、豊富な応用シーンなどの優位性を十分に活かし、経済社会の各分野におけるAIの加速度的普及と深い融合を推進して、イノベーションが応用をもたらし、応用がイノベーションを促すという好循環を形成させる」と指摘された。

自動車製造分野では、AIの応用の深化が自動車産業の絶え間ない品質向上とアップグレードを推進し、業界を跨ぐ統合型産業エコロジーが次第に形成され、自動車製造業が「スマート製造の時代」に急速に移行している。

製造から「スマート製造」へ AI活用が産業チェーン全体に浸透

近年、次世代情報技術と伝統的な製造業の深い融合が、自動車設備製造のデジタル化とスマート化のレベルを絶えず向上させている。

「自動車産業は電動化、スマート化、ネットワーク化への転換を加速している」と、中国自動車工業協会の陳士華副秘書長は述べている。現在、AI技術は中国の自動車製造業においてより深いレベルの応用段階に入り、「全体への浸透、全チェーンへのエンパワーメント、全面的なアップグレード」などの顕著な特徴を示しており、自動車産業では深遠なデジタル変革が起きている。自動車のプレス、溶接、塗装、組立、バッテリー・モーター・電気制御システム、エンジンなどの生産・製造プロセスでは、デジタル手段が広く使用されている。例えば、AI視覚品質検査システムが従来の人による検査に取って代わり、製品品質と生産効率を大幅に向上させ、デジタルツインプラットフォームは生産組立過程をシミュレーションし、リスクを予測し、新型車の生産ラインの導入期間を短縮させている。

安全の「ブラインドゾーン」に焦点を当て、自動車スマート製造の新たなシーンに力を与える

現在、多くの自動車生産工場は既に「スマートブレイン」を有している。奇瑞、零跑、蔚来、江淮などの自動車メーカーでは、溶接を担当するロボットが極めて短時間で数百もの溶接タスクを正確に完了している。AI安全視覚センサーがすべてのプロセスに配置され、生産の安全性を確保している。また、自動車生産ラインでは、自らブレインを持つAI検査視覚センサーが、不良品や不適合品が生産プロセスから流出しないように確保している。

「AI視覚技術は産業用ロボットにスマートな『目』と『ブレイン』を搭載し、そのスマート化レベルを大幅に向上させ、生産製造の安全性と効率をさらに高めている」と、普曼（杭州）工業科技有限公司の張亜鵬総経理は述べている。普曼工業は自動車製造業分野の新進気鋭のテクノロジーリーダーとして、AIの広い領域へのレイアウトとは異なり、自動車製造業という細分化された分野に焦点を当て、AI技術と工業シーンの深い融合を推進することで、業界の難題を解決している。同社が自主開発した安全視覚センサーとエラープルーフ視覚センサーは、ヒューマン・マシン協調のリスクと設備損傷を効果的に回避し、さらにリアルタイムかつ高精度な工程品質監視を通じて、製品の良品率と一致性を向上させ、自動車生産のコスト削減・効率向上と品質向上の目標に貢献している。

AIは自動車の使用方式を変えるだけでなく、自動車の生産製造プロセスにも大きな変革をもたらしている。AIがエンパワーメントするスマート製造は、自動車生産をより柔軟に、効率的に、スマートにし、物理的な統合からスマートな融合に進化させ、市場の変化への素早い対応やパーソナライズされたカスタマイズニーズへの対応を実現している。

「現在、当社の視覚センサーは自動車工場のプレス、溶接、塗装、組立、バッテリー・モーター・電気制御システムなど様々なシーンで広く応用され、多くの自動車メーカーで全面的に導入されている。私たちは、生産過程に対するリアルタイム、高精度、追跡可能なスマート管理を通じて、企業の製品の品質向上と運営効率の最適化をサポートし、新たな品質の生産力により製造業の力をさらに高めたい」と張亜鵬氏は語った。

データサイロを打破し、自動車スマート製造の新たな未来を描く

「自動車製造業とAI産業の融合は、AI産業に新たな要求や課題ももたらしており、自動車製造業はAI技術に対し、精度、リアルタイム性、安定性の面でより高い要求を課している」と、陳士華氏が述べている。現在、多くの自動車企業がデジタル化を積極的に模索しているが、データサイロの問題が依然として存在し、業界全体のデジ

タル変革を阻んでいる。陳士華氏は、将来、地域の計算能力センター建設をさらに強化し、データ資源の共有を促進し、AI、デジタル技術などの新技術の強みを十分に発揮させて、先駆的な研究を展開し、生産効率と製品品質をさらに向上させる必要があると考えており、AI技術の応用が深化するに伴い、自動車産業の産業チェーン全体におけるデジタル変革が促進されることを期待している。

陳士華氏によると、現在、国内の多くの革新的テクノロジー企業が、自動車製造のスマート化アップグレードをよりよく支援するため、積極的にR&Dを行い、AIを自動車生産製造の全プロセスに溶け込ませている。自動車産業のスマート化アップグレードには産業チェーンのステークホルダーの共同の取り組みが必要であり、従来の自動車製造企業は積極的に新技術を受け入れるべきであり、AI革新企業は自動車製造のニーズに合わせて製品を革新し、AIのクロスオーバー融合による産業エコロジーをさらに完備する必要がある。

陳士華氏は、AI分野における模索と試行を行っている中小零細企業やスタートアップ企業を多方面から支援し、対応する政策と人材支援を提供すべきであり、スマート製造の発展を前提とした場合、中国のAI企業が生み出すAI工業設備は、第四次産業革命への適用性をより高めるだろうと考えている。

ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部

住 所: 〒100031 中国北京市復興門内大街158号遠洋大廈10階
Tel: +86-10-6641-2345
Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス

住 所: 〒100-0004 日本東京都千代田区
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区
Tel: +81-3-6262-6643
Fax: +81-3-6262-6645
Email: tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス

住 所: 1350 Avenue of the Americas,
Suite 1710 New York, NY 10019 U.S.A.
Tel: +1-212-868-2066
Fax: +1-646-838-5151
Email: newyork@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス

住 所: 香港湾仔港湾道一号
会展広場ビル34号09室
Tel: +852-2523-1833
Fax: +852-2523-1338
Email: hongkong@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス

住 所: 上海市静安区威海路567号
晶采世紀大廈18階
Tel: +86-21-6288-8686
Fax: +86-21-6288-3622
Email: shanghai@ccpit-patent.com.cn

深圳オフィス

住 所: 深圳市福田区福華三路168号
国際商会センター1601
Tel: +86-755-3298-9252
Email: shenzhen@ccpit-patent.com.cn

武漢オフィス

住 所: 湖北省武漢市洪山区関山大道473号
光谷新發展国際センターB棟5階 06-116
Tel: +86-27-8720-0400
Email: wuhan@ccpit-patent.com.cn